看護管理者の皆さまへ

★★　注意喚起　★★

SNS を介した個人情報流出事件が立て続けに発生しています

“軽い気持ちが招く、関係者解雇や病院の信頼失墜を招く重大なコンプライアンス違反”

動機は、「悪意」ではなく「ノリと承認欲求・ストレス発散」

「夜勤の大変さを共有したい」「職場の日常を面白おかしく見せたい」「仲間内でウケたい」という、極めて幼稚で麻痺したノリやストレス発散など単純な動機で行ったことが重大な結果を招いています。

「個人情報隠し」の甘さが後押し

「仲間のグループ内だけ」「鍵アカウントだから」「24 時間で消えるから」という軽い気持ちで投稿しています。しかし、この**「限定だから大丈夫という油断」**が最大の罠であり、閲覧した誰かが画面録画やスクリーンショット（スクショ）を撮り、外部に持ち出すことで、瞬時に X（旧 Twitter）などのオープンな SNS へ拡散しています。

内部の同僚やグループからの漏えいと世界中に拡散

告発系アカウント（例「DEATHDOL NOTE」など）で一気に世界中に拡散し、病院も個人も特定されて炎上しています。



管理者の皆さまへ　“個人任せや精神論だけでは対応できません”

「スマホを触るな」という精神論だけでなく、「クローズドのつもりで発信したデータは、100%外部に抜かれる（デジタルタトゥーになる）」という現実的なリスクを、職員、特に若手職員に徹底して教育する必要がある局面に来ています。人の尊厳を守る倫理感を常に持つことを確認しましょう。



患者の権利と尊厳を守るための点検・仕組みづくりと声かけ

環境調整	☐ 私物スマートフォンの持ち込み禁止などの検討
ルール化	☐ SNS 使用ルールの確認
	☐ 写真撮影禁止ガイドライン
	☐ 私物スマートフォンの使用ルール再点検
倫理観醸成	☐ 対話を通じた倫理観の徹底

人財（人材）を人罪・人災にしない仕組みづくりの確認をお願いします

公益社団法人神奈川県看護協会
訪問看護・危機管理課